

社会福祉法人 立正たちばな会

認定こども園 川西保育園

施設関係者評価・自己評価

記録者氏名 認定こども園 川西保育園

※本園の保育全般を総合的に評価し、今後の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。  
項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A	たいへんよい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

項目	内容	施設関係者評価				2023年度(令和5年度)自己評価			
		評価				評価			
		A	B	C	D	A	B	C	D
保育目標・保育方針	①園の保育目標や保育方針は、分かりやすい。	○				○			
	②園の保育目標が、子ども達の中で生きている。	○					○		
	③園の保育目標や方針について、園長や他の保育教諭と話をする機会がある。	○					○		
	④保育方針は、その時々幼児に合ったものになるように定期的に見直されている。		○				○		
	⑤園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている。	○				○			
保育計画	①園の保育計画は、教育目標を生かして作られている。		○				○		
	②子ども達の年齢ごとの保育計画がある。	○				○			
	③園の保育計画は、園長と保育教諭が話し合いながら作られている。	○					○		
	④園の保育計画は、必要に応じて見直されている。		○				○		
	⑤園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	○				○			
保育環境	①保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育が出来るように努めている。		○				○		
	②室内の温度・湿度・換気・照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	○					○		
	③安心できる人的・物的環境をつくり、「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。		○				○		
	④屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	○				○			
	⑤年齢の異なる園児が、触れ合うような環境構成をしている。	○				○			

項目	内 容	評 価				評 価			
		A	B	C	D	A	B	C	D
保育内容・方法	①全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	○				○			
	②園児にわかりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話している。	○					○		
	③基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	○				○			
	④身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育み考慮をしている。	○				○			
	⑤園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	○				○			
食育	①いろいろな味に親しみ、喜んで食事が出来るようにした。	○				○			
	②食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。	○					○		
	③食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境ができていた。	○					○		
	④栄養素について興味・関心をもち、苦手な食べ物も食べられるように工夫が出来た。	○				○			
保育教諭の役割・質向上	①ひとり一人の園児をよく観察するように心がけている。	○				○			
	②全ての園児に、平等に接するように心がけている。	○					○		
	③その場にふさわしい言葉遣いができる。	○					○		
	④研修に行った保育教諭の研修内容は、全員に紹介される。	○				○			
	⑤園児のモデルとなれるように気を付けている。	○					○		
	⑥保護者との信頼関係が出来ている。	○					○		
子育て支援	①園児の送迎時に、園児の様子を保護者に伝えている。	○				○			
	②保護者の子育てについての相談にのっている。	○					○		
	③子育て支援の内容について、全員で話し合いをしている。		○				○		
	④子育て講演、情報提供を行っている。		○				○		
	⑤保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	○					○		
地域住民や関係機関との連携	①地域の人々と、親しく挨拶ができる。	○				○			
	②地域の方は、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解している。	○					○		
	③地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。		○				○		
	④地域の人との交流を大切にしている。	○				○			

項目	内容	評価				評価			
		A	B	C	D	A	B	C	D
運営管理	①園内で知り得た事柄について、守秘義務を徹底している。	○				○			
	②園長や主幹保育教諭・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	○				○			
	③保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	○					○		
	④園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	○					○		
	⑤事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある。	○					○		
	⑥緊急時のために、医療機関等の連絡先が明示されている。	○					○		

意見・改善策

・職員同士の話し合いや意見交換する場所が少ないように感じた。目標に向かって個人ではなく職員皆で行動に移し、そこで気付いたこと・感じたことを指導計画等の見直しに役立てたい。

・自分自身が保育目標をもっと深く理解したい。

・普通の保育の中で子ども達の「やってみたい！」の声で保育を作る・進める事もある。

・行事や日々の保育の中でも職員間で話して進めていきたい。

・園庭で使える固定遊具が限られているので修繕もしくは増やしてほしい。

・子ども用のロッカーが欲しい（学童）

・施設の目の前が道路の為少し危ない（学童）

・子どもが気持ち良い・心地よいと感じながら過ごせるように物の整理や換気等を行った。

## 意見・改善策

・距離感を大切にしつつ仲良く遊びたい。

・子ども一人ひとりの動き見ながらその場にあった声かけを意識して保育をしているが、時間に追われてしまうと忘れてしまう事があるので気をつけたい。

・子ども達に分かりやすい言葉がけをしているが、時々『若者言葉』が出てしまうので気をつけたい

・旬の食材を使ったメニューを提供できた(給食)

・もっと食材にも関心が持てるような保育や言葉掛けをしていきたい

・毎月ある新メニューやなかよし給食・年長児のクッキングなど、子ども達が『食』に対して興味を持てる機会が多くて良い。

・子ども達一人ひとりをしっかり観察・見守るように意識している。トラブルや保護者からの強い思いを聞く時にはしっかりと受け止めどうして行ったら良いかを職員間で話し合うようにしている。

・一人ひとりの特徴をとらえるように心掛け、その子に合った声かけや関わり方をするように意識した。

・研修内容についてチャットで共有されているので良い

・保護者との関わりが少ないと思う。こちらから積極的にコミュニケーションを取る。

・色々な子どもや家族のケースを職員間で話し合ったり共有はしているが、全員で話し合いをすることが難しく『数人で』『主に関わりのある職員間で』の話し合いになっている。

・勤務時間が限られている為自分が保護者の方と話せる時間を大切にしている。

・保護者との会話は常に心掛け、話しやすい職員を目指している

・地域の方への挨拶は気に掛けていて、子ども達もしっかりできていると感じている。

意見・改善策

・事故や災害時のマニュアルがある事は知っているが、突然の事故や病気の場合はPCから調べる事が多くなっている。